

採択基準	基本観点	発行者名
		2 東書
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫	<p>本編・基礎編・資料編で構成され、本編・基礎編においてすべての指導事項を扱っている。</p> <p>より深く古典の世界を理解するために、作品の前に解説、教材の後に「古典のコラム」設けている。また、絵巻や図版等のカラーの折り込み資料があり、古典作品のあらすじや歴史的背景等を紹介している。</p> <p>Dマークコンテンツを読み取り、資料映像等をインターネットで利用できる。</p> <p>各学年、多彩な読書案内でテーマ別に読書が深められるよう設定している。</p> <p style="text-align: right;">別表1</p>
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	<p>基礎編「学びを支える言葉の力」「文法解説」、資料編に掲載した言葉の力を鍛える構成である。</p> <p>語彙を豊かにするために「日本語体験」「文法の窓」「漢字道場」等を効果的に配置している。</p> <p>言葉の特徴やきまりに関する学習内容の定着や深化を図る教材を螺旋的かつ反復して配列している。</p> <p>情報については、単元の中で要点を紹介し、巻末で解説している。</p> <p style="text-align: right;">別表2</p>

発行者名		
15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>本編・資料編で構成され本編においてすべての指導事項を扱っている。</p> <p>より深く古典の世界を理解するために、教材の後に、コラムや古文・漢文の読み方のページがある。また、各学年、カラーの絵や写真の折り込みや巻末資料等を掲載している。</p> <p>二次元コードを読み取り、ウェブサイトで資料を閲覧できる。</p> <p>各学年、読書活動を設けるとともに、「読書の広場」でテーマごとに多くの本を紹介している。</p>	<p>本教材・小教材・資料で構成され、本教材・小教材においてすべての指導事項を扱っている。</p> <p>作品の歴史的背景や全体像へ理解を深めるため、巻末に本教材と同じ作品からの別の章段を紹介している。また、カラーの絵や写真の視覚資料を掲載している。</p> <p>動画等、デジタル資料が閲覧できる「まなびリンク」がある。</p> <p>各学年、現代の小説や随筆を読む学習と情報活用・図書館活用・読書交流の活動を組み合わせた教材がある。</p>	<p>本編と付録によって構成され、本編においてすべての指導事項を扱っている。</p> <p>より深く古典の世界を理解するために、巻末に複数の教材を紹介している。また、カラーの絵や写真の視覚資料を掲載している。</p> <p>二次元コードを読み取るとデジタル資料が閲覧できる。</p> <p>各学年、特設教材で読書を深められるよう設定している。また、学習・情報センターとしての図書館の活用方法を示している。</p>
<p>全体構成がわかるように、確かな言葉の力を身につけるための方法を巻頭に示している。</p> <p>語彙を豊かにするために、「言葉発見」「文法の窓」「漢字を身につけよう」等を効果的に配置している。</p> <p>言葉の特徴やきまりに関する学習内容の定着や深化を図る教材を螺旋的かつ反復して配列している。</p> <p>情報の単元を設け、その扱い方の理解や考えのまとめ方を示している。</p>	<p>全体構成がわかるように「言葉の地図」として学習方法を巻頭に明示するとともに、「言葉と文法 解説編」「言葉の自習室」「折込」によって、自学自習ができるよう工夫している。</p> <p>語彙を豊かにするために、「言葉の小窓」「文法の小窓」「漢字の広場」等を効果的に配置している。</p> <p>言葉の特徴やきまりに関する学習内容の定着や深化を図る教材を螺旋的かつ反復して配列している。</p> <p>情報については、単元の中の独立した教材として扱っている。</p>	<p>振り返りや学習を広げるために、巻末に多くの課題や資料を提示し、学習の効果を高める工夫をしている。</p> <p>語彙を豊かにするために、「言葉」「文法への扉」「漢字の広場」等を効果的に配置している。</p> <p>言葉の特徴やきまりに関する学習内容の定着や深化を図る教材を螺旋的かつ反復して配列している。</p> <p>情報については、単元の中の一教材として扱っている。</p>

採択基準	基本観点	発行者名
		2 東書
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域では、思考ツールを使い、協働的な学びを通して、多様な言語活動を設定している。</p> <p>「読むこと」領域では、身に付けるべき資質や能力を「言葉の力」で明示し、3年間で系統的に積み上がるよう教材を配列している。</p> <p style="text-align: right;">別表3</p>
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮	<p>学習過程や学習手順、学び方を明示し、見通しをもって主体的・対話的な学習に取り組めるよう配慮している。</p> <p>深い学びに結び付くよう付録・資料を巻末等に掲載している。</p> <p>「言葉の力」として、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」各領域での学習事項をまとめ、一覧表として全学年の系統性を示している。</p> <p style="text-align: right;">別表4</p>
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い	<p>「発展」と明記し、学習内容を掲載している。</p> <p>SDGsをはじめとした今日的な諸課題やその解決にあたるための力を育成する教材を配列している。</p> <p style="text-align: right;">別表5</p>

発行者名		
15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域では、興味・関心を喚起する多様な言語活動を設定している。</p> <p>「読むこと」領域では、「学びの道しるべ」で学習過程と課題を明示し、意見発表や読み比べを行い、読む力が向上するよう言語活動を設定している。</p> <p>学習過程や学習手順、学び方を明示し、見通しをもって主体的・対話的な学習に取り組めるよう配慮している。</p> <p>深い学びに結び付くよう付録・資料を巻末等に掲載している。</p> <p>「学びの道しるべ」として、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」各領域での見通しと振り返りを明示し、社会生活で生かせる実践的な力を育成するための学習事項を掲載している。</p> <p>「学びを広げる」で発展的な学習を示している。</p> <p>SDGsをはじめとした今日的な諸課題やその解決にあたるための力を育成する教材を配列している。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域では、「学びナビ」を使って学習のゴールを明確化する等、工夫し、効果的な思考力を働かせる多様な言語活動を設定している。</p> <p>「読むこと」領域では、「学びナビ」で読みの観点を明確化・焦点化を行っている。また、学習過程を2段階に構造化した「みちしるべ」で読む力を高める課題を設定している。</p> <p>学習過程や学習手順、学び方を明示し、見通しをもって主体的・対話的な学習に取り組めるよう配慮している。</p> <p>深い学びに結び付くよう付録・資料を巻末等に掲載している。</p> <p>「学びナビ」として、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」各領域での学習事項をまとめ、自覚的に習得・活用できるよう、学ぶための「知識」と「方法」を示している。</p> <p>「発展」とマークで明記し、学習内容を掲載している。</p> <p>SDGsを取り入れた題材を設定するとともに、SDGsに特化した多様な教材を配列している。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域では、思考ツールを使って図表の情報を視覚化する等、工夫し、現代的な諸課題への意識を高め学習の基盤となる多様な言語活動を設定している。</p> <p>「読むこと」領域では、「学習」で学習活動と読みを明確化し、学習過程を3段階に構造化し、課題を示している。また、比較・批判・評価等の能力を効果的に養えるよう教材構成を工夫している。</p> <p>学習過程や学習手順、学び方を明示し、見通しをもって主体的・対話的な学習に取り組めるよう配慮している。</p> <p>深い学びに結び付くよう付録・資料を巻末等に掲載している。</p> <p>「学習の見通しをもとう」及び「学習を広げる」して、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」各領域での学習事項をマークで示し、系統的に学べるようまとめ、掲載している。</p> <p>「学習を広げる」に「発展」と明記し、学習内容を掲載している。</p> <p>SDGsをはじめとした今日的な諸課題やその解決にあたるための力を育成する教材を配列している。</p>

採択基準	基本観点	発行者名
		2 東書
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(5) 他の教科等との関連	<p>他の教科や総合的な学習の時間等と充分に関連するよう教材を選定し、工夫して配列している。</p> <p>他教科との関連をマークで示している。</p> <p>特別の教科 道徳との関連については、豊かな人間性やたくましく生きる意志の育成、人間、社会、自然についての考え、伝統と文化の尊重等の内容を取り扱っている。</p> <p style="text-align: right;">別表 6</p>
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫	<p>ページ表記は下部である。</p> <p>挿絵、写真、図表や資料等を適切に配置し、生徒が興味・関心・意欲をもって学習できるように工夫をしている。</p> <p>特別支援教育とカラーユニバーサルデザインの各専門家の校閲を受けるなど、ユニバーサルデザイン化へ向けた取組を行っている。</p> <p style="text-align: right;">別表 7</p>

発行者名		
15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>他の教科や総合的な学習の時間等と充分に関連するよう教材を選定し、工夫して配列している。</p> <p>グループディスカッションのやり方や「思考の方法」を図解でわかりやすく示す等、他教科も含めたあらゆる場面で活用できる教材を配列している。</p> <p>特別の教科 道徳との関連については、豊かな人間性やたくましく生きる意志の育成、人間、社会、自然についての考え、伝統と文化の尊重等の内容を取り扱っている。</p>	<p>他の教科や総合的な学習の時間等と充分に関連するよう教材を選定し、工夫して配列している。</p> <p>SDGsとの関連をマークで示している。</p> <p>特別の教科 道徳との関連については、豊かな人間性やたくましく生きる意志の育成、人間、社会、自然についての考え、伝統と文化の尊重等の内容を取り扱っている。</p>	<p>他の教科や総合的な学習の時間等と充分に関連するよう教材を選定し、工夫して配列している。</p> <p>SDGsに関連する教材を幅広く掲載している。</p> <p>特別の教科 道徳との関連については、豊かな人間性やたくましく生きる意志の育成、人間、社会、自然についての考え、伝統と文化の尊重等の内容を取り扱っている。</p>
<p>ページ表記は下部である。</p> <p>挿絵、写真、図表や資料等を適切に配置し、生徒が興味・関心・意欲をもって学習できるように工夫をしている。</p> <p>カラーユニバーサルデザインの専門家の指導と校閲を受けるなど、ユニバーサルデザイン化へ向けた取組を行っている。</p>	<p>ページ表記は下部である。</p> <p>挿絵、写真、図表や資料等を適切に配置し、生徒が興味・関心・意欲をもって学習できるように工夫をしている。</p> <p>特別支援教育専門家の校閲を受けるなど、ユニバーサルデザイン化へ向けた取組を行っている。</p>	<p>ページ表記は上部である。</p> <p>挿絵、写真、図表や資料等を適切に配置し、生徒が興味・関心・意欲をもって学習できるように工夫をしている。</p> <p>特別支援教育とカラーユニバーサルデザインの各専門家の校閲を受けるなど、ユニバーサルデザイン化へ向けた取組を行っている。</p>

教科・種目名 国語 調査研究事項
別表1

調査項目		2 東書
「学習指導要領に示す目標の達成」に関わる全体の構成の特徴について		<p>本編・基礎編・資料編の3部構成であり、本編・基礎編ですべての指導事項を扱っている。</p> <p>教科書全体を通して、言葉による見方・考え方を働かせながら言語活動に取り組めるよう工夫している。</p> <p>教科書全体を通して、キャラクターに問いかけなど学習を進めていくスタイルである。</p>
我が国の言語文化に親しむ教材	古典の作品を扱っている教材名と作品名。古典の作品の示し方	<p>[1年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 移り行く浦島太郎の物語 ◇ 伊曾保物語 ◇ 竹取物語 ◇ 矛盾 ◇ 様々な古典作品 古事記/土佐日記/伊勢物語/源氏物語/梁塵秘抄/方丈記/芭蕉・蕪村・一茶の句 <p>[2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 枕草子・徒然草 ◇ 平家物語 ◇ 漢詩 ◇ 書き手の肖像-清少納言と兼好法師 ◇ 望郷の詩-杜甫と李白 ◇ 古典芸能に親しもう <p>[3年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 万葉・古今・新古今 ◇ おくのほそ道 ◇ 論語 ◇ 恋歌をよむ ◇ 「おくのほそ道」の旅 ◇ 古典芸能に親しもう ◇ [発展]古典の文法 ◇ 日本文学史年表

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>本編と資料編の2部構成であり、本編ですべての指導事項を扱っている。</p> <p>課題解決的な言語活動を系統的に設定している。</p> <p>すべての教材で、冒頭に学習目標を示し、末尾に振り返る活動を設定している。</p>	<p>本教材・小教材・資料の3部構成であり、本教材・小教材ですべての指導事項を扱っている。</p> <p>全学年、各領域でSDGsを取り入れた話題、題材を設定している。また、各学年本教材の最初に、「言葉の地図」があり、教科書の内容を見通せる表と、関連するSDGsの図を示している。</p>	<p>「本教材」「小教材」「コラム」「特設教材」で構成しすべての指導事項を扱っている。</p> <p>「思考力、判断力、表現力等」の全領域においてすべての言語活動例を網羅している。</p>
<p>[1年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 月を思う心 ◇ 竹取物語 ◇ 故事成語-矛盾 ◇ 古事記 ◇ 古典芸能に親しむ 落語の世界 落語 桃太郎 <p>[2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 枕草子・徒然草 ◇ 平家物語 ◇ 漢詩の世界 ◇ 那須与一-「平家物語」より ◇ 古典芸能に親しむ 歌舞伎の世界 歌舞伎/外郎売 <p>[3年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 和歌の世界 -万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 ◇ おくのほそ道 ◇ 論語 ◇ 近世の短詩-俳句・川柳・狂歌 ◇ 古典芸能に親しむ 能・狂言の世界 狂言/柿山伏 	<p>[1年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 昔話と古典-箱にはいった桃太郎 ◇ 物語の始まり-竹取物語 ◇ 故事成語-中国の名言 ◇ 蓬萊の玉の枝と偽りの苦心談-竹取物語 ◇ 伝統芸能へのいざない-落語 ◇ 小倉百人一首 <p>[2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 敦盛の最期-平家物語 ◇ 随筆の味わい-枕草子・徒然草 ◇ 二千五百年前からのメッセージ-孔子の言葉 ◇ 扇の的-平家物語 ◇ 伝統芸能へのいざない 歌舞伎 <p>[3年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 旅への思い-芭蕉と『おくのほそ道』 ◇ 和歌への調べ-万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 ◇ 風景と心情-漢詩を味わう ◇ 古典文学の名作 ◇ 発展古典文法活用表 ◇ 伝統芸能へのいざない 狂言 	<p>[1年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 音読を楽しもう いろは歌 ◇ 古典の世界 ◇ 蓬萊の玉の枝-「竹取物語」から ◇ 今に生きる言葉 ◇ 百人一首を味わう ◇ 言葉としぐさの伝統芸-古典落語 <p>[2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 源氏と平家 ◇ 音読を楽しもう 平家物語 ◇ 扇の的-「平家物語」から ◇ 仁和寺にある法師-「徒然草」から ◇ 漢詩の風景 ◇ 古典の世界を広げる 敦盛の最期-「平家物語」から /家の作りやうは-「徒然草」から ◇ 古典芸能の世界-能・狂言 <p>[3年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 和歌の世界 ◇ 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 ◇ 君待つと-万葉・古今・新古今 ◇ 夏草-「おくのほそ道」から ◇ 古典名句・名言集 ◇ 古典芸能の世界-歌舞伎・浄瑠璃 ◇ 古典・近代文学の名作

教科・種目名 国語 調査研究事項

調査項目		2 東書
我が国の言語文化に親しむ教材	古典の作品を扱っている教材名と作品名。 古典の作品の示し方	<p>古典の朗読や資料映像を D マークコンテンツで利用できるように用意している。</p> <p>古典作品の前に、簡単な解説が書かれている。古典教材の最後に、古典のコラムがあり、漢文の読み方、漢詩の形式、古典の言葉を紹介している。</p> <p>折り込みのカラーページで絵や写真の関連資料を掲載している。</p> <p>絵や写真の視覚資料で、作品の歴史的背景や全体像に触れている。</p>
	読み物教材や読書活動、学校図書館等の活用について取り上げている教材名。教材の示し方	<p>[1年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇碑 ◇本で世界を広げよう 戦争・平和 ◇図書館で調べよう ◇風を受けて走れ ◇本で世界を広げよう 福祉・共生 ◇本のポップを作ろう ◇トロッコ ◇名作を読もう ◇私のおすすめ本 ◇本の世界を楽しもう

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>二次元コードを読み取り、ウェブサイト上で他の章段等の原文と現代語訳が閲覧できるように設定している。</p> <p>教材の最後に、古文、漢文の読み方のページがある。</p> <p>折り込みや巻末の資料のカラーページで、絵や写真の資料を掲載している。</p> <p>絵や写真の視覚資料で、作品の歴史的背景や全体像に触れている。</p>	<p>「まなびリンク」があり、動画や画像資料をウェブサイトで見ることができる。</p> <p>教材の最後に、古文、漢文の読み方のページがある。</p> <p>巻末付録「言葉の自習室」に本教材と同じ作品から別の章段を掲載している。</p> <p>絵や写真の視覚資料で、作品の歴史的背景や全体像に触れている。</p>	<p>二次元コードで、朗読音声聞くことができる。</p> <p>三年間で学習する古典への見通しが持てるように、古典の導入教材として、「古典の世界」を示している。</p> <p>巻末の資料のカラーページで、絵や写真の資料を掲載している。</p> <p>絵や写真の視覚資料で、作品の歴史的背景や全体像に触れている。</p>
<p>[1年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇私の読書体験 本を読むことのおもしろさ ◇読書活動 ブッククラブ ◇小さな図書館 ◇電車は走る ◇紅鯉 ◇古事記 ◇この小さな地球の上で ◇食感のオノマトペ 	<p>[1年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ベンチ ◇蜘蛛の糸 ◇銀のしずく降る降る ◇蓬萊の玉の枝と偽りの苦心談-竹取物語 ◇花の詩画集 ◇デューク ◇広がる本の世界 1～9 	<p>[1年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇読書を楽しむ ◇本の中の中学生 ◇あと少し、もう少し ◇西の魔女が死んだ ◇ブラインドの向こうに見える光 ◇読書案内 本の世界を広げよう ◇読書コラム 本との出会い ◇考える人になろう ◇君たちはどう生きるか ◇たのしい制約 ◇読書案内 本の世界を広げよう ◇坊っちゃん ◇幻の魚は生きていた

教科・種目名 国語 調査研究事項

調査項目		2 東書
我が国の言語文化に親しむ教材	読み物教材や読書活動、学校図書館等の活用について取り上げている教材名。教材の示し方	<p>[2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇卒業ホームラン ◇本で世界を広げよう 考え方・生き方 ◇ビブリオバトルをしよう ◇鯉節-世界に誇る伝統食 ◇本で世界を広げよう 日本文化 ◇調べて一枚レポートにまとめよう ◇坊ちゃん ◇名作を読もう ◇私のおすすめ本 ◇本の世界を楽しもう <p>[3年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇恩返しの井戸を掘る ◇本で世界を広げよう 国際理解・人権 ◇読書会を開こう ◇何のために「働く」のか ◇本で世界を広げよう 現代社会 ◇将来の目標や計画を立てよう ◇最後の一句 ◇名作を読もう ◇私のおすすめ本 ◇本の世界を楽しもう
		<p>各学年 3 箇所ある読書案内で、テーマ別に読み比べや読み広げができるように設定している。</p> <p>各学年のはじめの 2 箇所に、読書の手引きがあり、図書館で調べたり、ポップを作ったりするなど、情報活用の方法を示している。</p>

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>[2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇私の読書体験 生涯の友と出会う ◇読書活動 ビブリオバトル ◇小さな図書館 ◇ポテト・スープが大好きな猫 ◇むさぼり ◇那須与一-「平家物語」より ◇見えないチカラとキセキ ◇水田のしくみを探る <p>[3年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇私の読書体験 谷間の君へ ◇読書活動 ブックトーク ◇小さな図書館 ◇高瀬舟 ◇サシバ舞う空 ◇近世の短詩-俳句・川柳・狂歌 ◇「ありがとう」と言わない重さ ◇武器なき出陣-千本松原が語り継ぐ 	<p>[2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇夢を跳ぶ ◇坊っちゃん ◇悠久の自然 ◇扇の的-平家物語 ◇季節をうたう ◇字のない葉書 ◇広がる本の世界 1~9 <p>[3年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇薔薇のボタン ◇最期の一句 ◇素顔同盟 ◇語り継ぐもの ◇言葉の力 ◇言葉でつかんだ世界一 ◇広がる本の世界 1~9 	<p>[2年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇読書を楽しむ ◇翻訳作品を読み比べよう ◇星の王子さま ◇読書コラム「わからない」は人生の宝物 ◇読書案内 本の世界を広げよう ◇研究の現場にようこそ ◇日本に野生のゾウやサイがいた頃 ◇クモの糸でバイオリン ◇読書案内 本の世界を広げよう ◇形 ◇生物が記録する科学 <p>[3年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇読書を楽しむ ◇「私の一冊」を探しにいこう ◇羊と鋼の森 ◇読書案内 本の世界を広げよう ◇読書コラム ためになるってどんなこと? ◇本は世界への扉 ◇エルサルバドルの少女ヘスース ◇紛争地の看護師 ◇読書案内 本の世界を広げよう ◇高瀬舟 ◇二つの悲しみ ◇アラスカとの出会い
<p>各学年、テーマごとに 47 冊の図書を紹介するページがある。</p> <p>各学年、資料編に、図書館等を活用した「情報探しの方法」「引用と著作権」について示している。</p> <p>各学年、本編の最後に5本の読書教材を掲載している。</p> <p>各学年、一つずつの読書活動を配置している。</p>	<p>各学年、各単元の終わりに、関連した図書をまとめて紹介している。</p> <p>各学年、現代の小説や随筆を読む学習と、情報活用・図書館活用・読書交流の活動が組み合わせた教材を掲載している。</p> <p>各学年に一つ、日本三大文豪の近代小説を読む学習と、写真入りの解説がある。</p> <p>「まなびリンク」に図書紹介があり、ウェブサイトで見ることができる。</p>	<p>各学年 2 箇所の特設教材の読み広げや読み比べ、本の探し方を体験できるように設定している。</p> <p>学習・情報センターとしての図書館の具体的な活用方法を示している。</p>

教科・種目名 国語 調査研究事項
別表2

調査項目	2 東書
<p>語彙・文法の教材名と示し方</p>	<p><漢字・語句> [全学年共通] 該当ページ下欄に新出漢字、意味・用法を確認すべき語句を示している。 単元の中の独立した教材として漢字に関する知識事項を扱っている。 [1年] ◇漢字道場 1『活字と書き文字・画数・筆順』 ◇漢字道場 2『音読み・訓読み』 ◇漢字道場 3『漢字の部首』 ◇漢字道場 4『他教科で学ぶ漢字』 ◇漢字道場 5『漢字の成り立ち』 ◇『小学校六年の漢字(日常)』 [2年] ◇漢字道場 1『形の似た漢字』 ◇漢字道場 2『他教科で学ぶ漢字(1)』 ◇漢字道場 3『漢字の意味』 ◇漢字道場 4『同訓異字』 ◇漢字道場 5『他教科で学ぶ漢字(2)』 ◇漢字道場 6『同音異義語』 [3年] ◇漢字道場 1『他教科で学ぶ漢字(1)』 ◇漢字道場 2『熟語の構成・熟字訓』 ◇漢字道場 3『四字熟語』 ◇漢字道場 4『送り仮名』 ◇漢字道場 5『他教科で学ぶ漢字(2)』 ◇漢字道場 6『紛らわしい漢字』 ◇漢字道場 7『間違えやすい言葉』</p>

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p><漢字・語句> [全学年共通] 該当ページ下欄に新出漢字、意味・用法を確認すべき語句を示している。 各教材の終わりに新出漢字・新出音訓を示している。 単元末の『漢字を身につけよう1～9(3年は8)』で読みの振り返りや確認を促している。 単元の中の独立した教材として漢字に関する知識事項を扱っている。 [1年] ◇漢字のしくみ 1『活字と手書き文字・画数・筆順』 ◇漢字のしくみ 2『部首と成り立ち』 ◇漢字のしくみ 3『漢字の音と訓』 [2年] ◇漢字のしくみ 1『熟語の構成・熟字訓』 ◇漢字のしくみ 2『熟語の読み』 [3年] ◇漢字のしくみ『四字熟語』</p>	<p><漢字・語句> [全学年共通] 該当ページ下欄に新出漢字、意味・用法を確認すべき語句を示している。 各教材の終わりにこの教材で学ぶ漢字、新出音訓、この教材で学ぶ言葉、付表の語を示している。 単元末の『漢字の練習 1～5(1年は7)』で読み書きの練習・確認を促している。 単元の中の独立した教材として漢字に関する知識事項を扱っている。 [1年] ◇漢字の広場 1『漢字の部首』 ◇漢字の広場 2『画数と活字の字体』 ◇漢字の広場 3『漢字の音と訓』 ◇漢字の広場 4『熟語の構成』 [2年] ◇漢字の広場 1『まちがえやすい漢字』 ◇漢字の広場 2『漢字の成り立ち』 ◇漢字の広場 3『漢字の多義性』 ◇漢字の広場 4『同音の漢字』 [3年] ◇漢字の広場 1『呉音・漢音・唐音』 ◇漢字の広場 2『熟字訓』 ◇漢字の広場 3『異字同訓』 ◇漢字の広場 4『四字熟語』</p>	<p><漢字・語句> [全学年共通] 該当ページ下欄に新出漢字、意味・用法を確認すべき語句を示している。 各教材の終わりに新出漢字・新出音訓を示している。 単元末の『漢字に親しもう1～6』で読み書き・知識の振り返りや確認を促している。 単元の中の独立した教材として漢字に関する知識事項を扱っている。 [1年] ◇漢字 1『漢字の組み立てと部首』 ◇漢字 2『漢字の音訓』 ◇漢字 3『漢字の成り立ち』 ◇[練習]小学校六年生で学習した漢字 [2年] ◇漢字 1『熟語の構成』 ◇漢字 2『同じ訓・同じ音をもつ漢字』 ◇漢字 3『送り仮名』 [3年] ◇漢字 1『熟語の読み方』 ◇漢字 2『漢字の造語力』 ◇漢字 3『漢字のまとめ』</p>

教科・種目名 国語 調査研究事項

調査項目	2 東書
<p>語彙・文法の教材名と示し方</p>	<p><言葉・語彙> [全学年共通] 言葉に関する項目を、単元の中の独立した教材として扱っている。</p> <p>[1年] ◇日本語探検 1『音声の働きや仕組み』 ◇日本語探検 2『接続する語句・指示する語句』 ◇日本語探検 3『方言と共通語』 ◇日本語探検 4『語の意味と文脈・多義語』</p> <p>[2年] ◇日本語探検 1『話し言葉と書き言葉』 ◇日本語探検 2『敬語』 ◇日本語探検 3『類義語・対義語』</p> <p>[3年] ◇日本語探検 1『和語・漢語・外来語』 ◇日本語探検 2『間違えやすい敬語』 ◇日本語探検 3『連語・慣用句』 ◇日本語探検 4『言葉の移り変わり』</p>

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p><言葉・語彙> [全学年共通] 教材ごとに「語彙を豊かに」の欄(枠)を設け、さまざまなテーマで教材に関連した語彙を取り上げている。 言葉に関する項目を、単元の中の独立した教材として扱っている。</p> <p>[1年] ◇言葉発見①『音声のしくみとはたらき』 ◇言葉発見②『話し言葉と書き言葉』 ◇言葉発見③『接続する語句・指示する語句』 ◇言葉発見④『比喩・倒置・反復・対句・体言止め』 ◇言葉発見⑤『方言と共通語』</p> <p>[2年] ◇言葉発見①『敬語の意味と種類』 ◇言葉発見②『言葉のはたらきとコミュニケーション』 ◇言葉発見③『上位語・下位語』 ◇言葉発見④『類義語・対義語、多義語』</p> <p>[3年] ◇言葉発見①『辞書の語釈』 ◇言葉発見②『和語・漢語・外来語』 ◇言葉発見③『慣用句・ことわざ・故事成語』 ◇言葉発見④『言葉の現在・過去・未来』 ◇言葉発見⑤『相手や場に配慮した言葉遣い』</p>	<p><言葉・語彙> [全学年共通] 言葉に関する項目を、単元の中の『言葉の小窓』で疑問点や着眼点のみを示唆し、後の『言葉』で解説している。</p> <p>[1年] ◇言葉の小窓 1→言葉 1『日本語の音声』 ◇言葉の小窓 2→言葉 2『日本語の文字』 ◇言葉の小窓 3→言葉 3『方言と共通語』</p> <p>[2年] ◇言葉の小窓 1→言葉 1『敬語』 ◇言葉の小窓 2→言葉 2『話し言葉と書き言葉』 ◇言葉の小窓 3→言葉 3『類義語・対義語・多義語・同音語』</p> <p>[3年] ◇言葉の小窓 1→言葉 1『和語・漢語・外来語』 ◇言葉の小窓 2→言葉 2『相手に対する配慮と表現』 ◇言葉の小窓 3→言葉 3『慣用句・ことわざ』</p>	<p><言葉・語彙> [全学年共通] 言葉に関する項目を、単元の中の独立した教材として扱っている。</p> <p>[1年] ◇言葉 1『指示する語句と接続する語句』 ◇言葉を集めよう『もっと「伝える」表現を目ざして』 ◇言葉 2『方言と共通語』 ◇言葉 3『さまざまな表現技法』</p> <p>[2年] ◇言葉 1『類義語・対義語・多義語』 ◇言葉を比べよう『もっと「伝える」表現を目ざして』 ◇言葉 2『敬語』 ◇言葉 3『話し言葉と書き言葉』</p> <p>[3年] ◇言葉を選ぼう『もっと「伝える」表現を目ざして』 ◇言葉 1『和語・漢語・外来語』 ◇言葉 2『慣用句・ことわざ・故事成語』</p>

教科・種目名 国語 調査研究事項

調査項目	2 東書
語彙・文法の教材名と示し方	<p><文法事項> [全学年共通] 文法事項は、単元の中の『文法の窓』で概要や問題点のみを示唆し、巻末の基礎編『文法解説』で詳しく解説している。</p> <p>[1年] ◇文法の窓 1→文法解説『文法とは・言葉の単位』 ◇文法の窓 2→文法解説『文の成分・連文節』 ◇文法の窓 3→文法解説『単語の分類』 ◇文法の窓 4→文法解説『名詞』 ◇文法の窓 5→文法解説『連体詞・副詞・接続詞・感動詞』</p> <p>[2年] ◇文法の窓 1→文法解説『用言の活用』 ◇文法の窓 2→文法解説『助詞』 ◇文法の窓 3→文法解説『助動詞』 ◇『用言活用表』 ◇『助詞一覧表』 ◇『助動詞活用表』</p> <p>[3年] ◇文法の窓 1→文法解説『曖昧な文・分かりづらい文』 ◇文法の窓 2→文法解説『文法のまとめ』 ◇『一～二年の復習』 ◇『用言活用表』 ◇『助詞一覧表』 ◇『助動詞活用表』</p>

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p><文法事項> [全学年共通] 文法事項は、単元の中の『文法の窓』で疑問点として提示し、巻末の『文法のまとめ』で詳しく解説している。</p> <p>[1年] ◇文法の窓 1『言葉の単位・文節の関係』→文法のまとめ ◇文法の窓 2『単語の類別・品詞』→文法のまとめ</p> <p>[2年] ◇文法の窓 1『用言の活用』→文法のまとめ ◇文法の窓 2『助詞・助動詞のはたらき』→文法のまとめ</p> <p>[3年] ◇文法の窓『表現につながる文法』→文法のまとめ</p>	<p><文法事項> [全学年共通] 文法事項は、単元の中の『文法の小窓』で疑問点や問題点のみを示唆し、巻末の『文法』で詳しく解説している。</p> <p>[1年] ◇文法の小窓 1→文法 1『言葉の単位』 ◇文法の小窓 2→文法 2『文の成分』 ◇文法の小窓 3→文法 3『単語のいろいろ』</p> <p>[2年] ◇文法の小窓 1→文法 1『活用のない自立語』 ◇文法の小窓 2→文法 2『活用のある自立語』 ◇文法の小窓 3→文法 3『付属語のいろいろ』</p> <p>[3年] 文法の小窓 1→文法 1『助詞のはたらき』 文法の小窓 2→文法 2『助動詞のはたらき』 文法(解説)→3『文法的に考える』</p>	<p><文法事項> [全学年共通] 文法事項は、単元の中で一教材として簡潔に扱い、巻末の『文法・漢字・振り返り』の中でより詳しく解説している。</p> <p>[1年] ◇文法への扉 1『言葉のまとまりを考えよう』→文法 1『言葉の単位』 ◇文法への扉 2『言葉の関係を考えよう』→文法 2『文の組み立て』 ◇文法への扉 3『単語の性質を見つけよう』→文法 3『単語の分類』</p> <p>[2年] ◇文法への扉 1『単語をどう分ける』→文法 1『自立語』 ◇文法への扉 2『走る。走らない。走ろうよ。』→文法 2『用言の活用』 ◇文法への扉 3『一字違いで大違い』→文法 3『付属語』</p> <p>[3年] ◇文法への扉 1『すいかは幾つ必要?』→文法 1『文法を生かす』 ◇文法への扉 2『「ない」の違いがわからない?』→文法 2『文法のまとめ』</p>

教科・種目名 国語 調査研究事項

調査項目	2 東書
語彙・文法の教材名と示し方	<p><巻末資料> [全学年共通] ◇『新出漢字一覧』 ◇『新出音訓一覧』 ◇『常用漢字表』 ◇『言葉を広げよう』 ◇『学習用語一覧』 ◇『「学びを支える言葉の力」のまとめ』 [2年] ◇『敬語のまとめ』 [3年] ◇『敬語のまとめ』 ◇『本文で学ばなかった漢字』</p>
敬語の教材名と示し方	<p>[2年] ◇日本語探検 1『敬語』 [3年] ◇日本語探検 2『間違いやすい敬語』 ◇[2・3年](巻末資料)『敬語のまとめ』</p> <p>尊敬語と謙譲語の取り違い、過剰な敬語について、例文を使って説明している。</p> <p>本編で、単元の中の一教材として扱った上で、2・3年の巻末資料『敬語のまとめ』で詳しくまとめている。尊敬語、謙譲語、丁寧語に分類した上で、謙譲語に丁寧語が含まれ、丁寧語に美化語が含まれていると説明している。</p>

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p><巻末資料> [全学年共通] ◇『学習用語辞典』 ◇『語彙の広がり』 ◇『〇年生で学ぶ漢字字典』 ◇『〇年生で学ぶ音訓』 ◇『小学校六年生で学習した漢字』 ◇『常用漢字表音訓一覧』 ◇『常用漢字表 付表』</p>	<p><巻末資料> [全学年共通] ◇『〇年生で学習した漢字』 ◇『小学校六年生で学習した漢字』 ◇『常用漢字表』 ◇『〇年生で読みを学習した漢字・語』 ◇『理解に役立つ言葉』 ◇『表現に役立つ言葉』</p>	<p><巻末資料> [全学年共通] ◇『語彙を豊かに-心情、様子、行為を表す言葉[1年]/抽象的な概念、見方や考え方を表す言葉[2年]/見方や考え方を表す言葉、慣用句・ことわざ・四字熟語・故事成語[3年]』 ◇『小学校六年生で学習した漢字一覧』 ◇『〇年生で学習した漢字』 ◇『〇年生で学習した音訓』 ◇『常用漢字表について[3年]』 ◇『常用漢字表』 ◇『常用漢字表 付表』</p>
<p>[2年] ◇言葉発見①『敬語の意味と種類』 [3年] ◇言葉発見⑤『相手や場に配慮した言葉遣い』</p> <p>場面、相手、目的、はたらきに応じた敬語の使い方を示している。相手への気配りを表す表現についても補足している。</p> <p>単元の中の一教材として扱う。丁寧語、尊敬語、謙譲語に分類して扱っている。丁寧語に美化語が含まれていると説明している。</p>	<p>[2年] ◇言葉 1『敬語』 [3年] ◇言葉 2『相手に対する配慮と表現』</p> <p>場面や相手に応じた配慮と敬語の働きについて示している。</p> <p>言葉の小窓 1 で疑問点や着眼点を示唆した後、言葉1で知識・理解の項目として扱う。尊敬語・謙譲語・丁寧語・美化語に分類して並列に扱っている。丁寧語を補足説明として紹介している。</p>	<p>[1年] ◇巻末資料『敬語を使う』 [2年] ◇言葉 2『敬語』</p> <p>単元の中の一教材として扱っている。丁寧語、尊敬語、謙譲語に分類して扱い、美化語は補足説明として紹介している。</p> <p>敬語を使うべき具体的な場面を示している。</p>

調査項目	2 東書
<p>情報の扱い方の教材名と示し方</p>	<p>[全学年共通] 単元の中の『学びの扉』で、要点のみを紹介し、巻末の基礎編「学びを支える言葉の力」で詳しく解説している。前後の「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材と関連付けている。 [1年] ◇学びの扉『分類する・比較する』→学びを支える言葉の力「整理する力」 ◇学びの扉『事実と考えを区別する』→学びを支える言葉の力「分析する力」 ◇学びの扉『根拠を挙げて考えを述べる』→学びを支える言葉の力「議論する力」 ◇学びの扉『文脈を捉え、伏線に気づく』→学びを支える言葉の力「解釈する力」 ◇学びの扉『描写や表現技法を用いる』→学びを支える言葉「表現する力」 ◇学びの扉『相手の話を受け止め、引き出す』→学びを支える言葉の力「伝え合う力」 [2年] ◇学びの扉『情報を図や表に整理する』→学びを支える言葉の力「整理する力」 ◇学びの扉『論証の説得力を見極める』→学びを支える言葉の力「分析する力」 ◇学びの扉『質問する・反論する』→学びを支える言葉の力「議論する力」 ◇学びの扉『人物像を捉える』→学びを支える言葉の力「解釈する力」 ◇学びの扉『想像を誘うように表現する』→学びを支える言葉の力「表現する力」 ◇学びの扉『相手の立場を踏まえ、考えを深める』→学びを支える言葉の力「伝え合う力」</p>

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>[全学年共通] 情報の単元を設け、その扱い方の理解や考えのまとめ方を示している。 教材ごとに「思考の方法」の欄(枠)を設け、情報と情報との関係の表し方や整理の仕方を学習活動と関連付けて示している。 [1年] ◇『複数の情報を関連付けて考えをまとめる』 ◇資料 A『防災に関するデータ』 ◇資料 B『「みんなでいるから大丈夫」の怖さ』 [2年] ◇『複数の情報を関連付けて考えをまとめる』 ◇資料 A『共生社会に関するデータ』 ◇資料 B『自立とは「依存先を増やすこと」』 [3年] ◇『複数の情報を関連付けて考えをまとめる』 ◇資料 A『情報社会を生きる-メディア・リテラシー』 ◇資料 B『広告の読み比べ』 <巻末資料> [全学年共通] ◇『「思考の方法」一覧』 ◇『情報探しの方法』 ◇『引用と著作権』</p>	<p>[全学年共通] 単元の中の独立した教材として扱っている。 教材の初めに「学びナビ」の欄を設け、情報の捉え方や整理の仕方を示している。 関連する教材の後に、情報の扱い方に関する欄(枠)を設けている。 [1年] ◇『全ては編集されている』 ◇『写真で「事実」を表現する』 ◇『広告の情報を考える』 ◇『漫画で「物語」を表現する』 [2年] ◇『SNSから自由になるために』 ◇『脚本で動きを説明する』 ◇『映像作品の表現を考える』 [3年] ◇『メディア・リテラシーはなぜ必要か?』 ◇『新聞が伝える情報を考える』 ◇『ニュースで情報を編集する』</p>	<p>[全学年共通] 単元の中の一教材として扱っている。前後の「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材と関連づけて系統的に学べる配列である。 [1年] ◇情報処理のレッスン『比較・分類』 ◇思考のレッスン1『意見と根拠』 ◇情報社会を生きる『情報を集めよう』 『情報を読み取ろう』 『情報を引用しよう』 ◇思考のレッスン2『原因と結果』 [2年] ◇情報整理のレッスン『思考の視覚化』 ◇思考のレッスン1『具体と抽象』 ◇情報社会を生きる『メディアを比べよう』 『メディアの特徴を生かして情報を集めよう』 『「自分で考える時間」をもとう』 ◇思考のレッスン 2『根拠の吟味』 [3年] ◇情報整理のレッスン『情報の信頼性』 ◇思考のレッスン『具体化・抽象化』 ◇情報社会を生きる『実用的な文章を読もう』 『報道文を比較して読もう』 <巻末資料> [全学年共通] ◇『「思考のレッスン」一覧 情報と情報との関係』 ◇『「情報整理のレッスン」一覧 情報整理の方法』</p>

教科・種目名 国語 調査研究事項

調査項目	2 東書
情報の扱い方の教材名と示し方	<p>[3年] ◇学びの扉『多面的に捉える』→ 学びを支える言葉の力「整理する力」 ◇学びの扉『論理的に読む』→ 学びを支える言葉の力「分析する力」 ◇学びの扉『合意を形成する』→ 学びを支える言葉の力「議論する力」 ◇学びの扉『人物どうしの関係に着目する』→ 学びを支える言葉の力「解釈する力」 ◇学びの扉『素材を生かして表現する』→ 学びを支える言葉の力「表現する力」 ◇学びの扉『相手や目的に応じて伝える』→ 学びを支える言葉の力「伝え合う力」</p> <p><巻末資料> [1年] ◇『著作権と引用』 [2年] ◇『取材の仕方(インタビュー・アンケート)』 ◇『著作権について考える』 [3年] ◇『情報の信頼性を確かめる』</p>

15 三省堂	17 教出	38 光村
		<p>[1年] ◇『アンケート調査の方法』 [2年] ◇『インタビューをする』 [3年] ◇『グラフの活用/引用・出典』</p>

教科・種目名 国語 調査研究事項
別表3

調査項目		2 東書
領域ごとの言語活動と示し方	話すこと・聞くこと	<p>根拠の示し方や吟味の方法、分析・比較に基づいた批評等、段階を追って説得力を高める工夫がある。</p> <p>思考ツールで思考を視覚化しながら、協働的な学びを通して議論や制作を進める言語活動を設定している。</p> <p>「読む」で獲得した資質・能力を描写や表現の学習に生かせるよう、教材配列の工夫がある。</p> <p>現代的な諸課題への意識を高め、学習の基盤となる多様な言語活動を設定している。</p>
	書くこと	
	読むこと	<p>資質・能力を「言葉の力」で明示し、3年間で系統的・段階的に積み上がるよう教材を配置している。</p> <p>議論の意義や技術を読み取り、実際に議論を進めながら考えを深める教材を設定している。</p> <p>情報の関連付けや批判的読み等、論理的思考力を育成する課題を「てびき」で示している。</p>

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>興味・関心を喚起する言語活動を教材化している。</p> <p>学習活動の手順を明示し、協働的な学びを通して見通しをもった学習を進められる工夫をしている。</p> <p>現代社会の課題について、情報に関連付けながら課題解決を目指す学習を通して、社会の一員として、求められる資質・能力の育成を図っている。</p>	<p>教材冒頭に「学びナビ」を設け、言語活動における効果的な思考力の働き方を明示している。</p> <p>表現のモデルを示すことで、学習のゴールを明確化している。また、学習の助けとなるよう、学習の重点についての具体的なヒントや例示されたモデルの解説等を示している。</p> <p>社会生活で生きて働く表現力について取り上げたコラム教材を設けている。</p>	<p>教材冒頭で「生かす」場、「学習の窓」で資質・能力、末尾で将来に「つなぐ」ための具体例を示し、学びを未来につなぐための工夫がある。</p> <p>思考ツールや図表を用いて情報を視覚化し、整理しながら共有する方法を具体的に示している。</p> <p>現代的な諸課題への意識を高め、学習の基盤となる多様な言語活動を設定している。</p>
<p>「学びの道しるべ」で学習過程と課題を明示し、条件を踏まえた意見発表や読み比べ等、学力の定着・向上に資する多様な効果的な言語活動を設定している。</p> <p>「読み方を学ぼう」で、批判的な読みや三角ロジック等、論理的思考力を育成する読みの方法を学び、「学びの道しるべ」と関連付けることで汎用性のある学び方の習得を図っている。</p>	<p>教材冒頭に「学びナビ」を設け、読みの観点を明確化・焦点化している。</p> <p>学習過程を2段階に構造化した「みちしるべ」で、読みを深める課題を設定している。</p> <p>読解力の向上を自分の力で確かめられるよう、思考力を問う「学びのチャレンジ」を各学年に配置している。</p>	<p>「学習」で学習活動と目標を明示し、学習過程を3段階に構造化して課題を示している。</p> <p>「学習の窓」で読みの力を一覧できる。「振り返る」で獲得した資質・能力を明確に自覚できる課題を設定している。</p> <p>比較、批判、評価等の能力を効果的に養えるよう教材構成を工夫している。</p>

教科・種目名 国語 調査研究事項
別表4

調査項目	2 東書
教科書の使い方に関する記載の有無とその名称	有 ◇「学習の進め方・教科書の 使い方」 ◇「学んだことを、次の学習に生かそう」
学習のまとめの示し方	◇<教材末>「読むこと」の教材末に「てびき」として、課題を考えるヒントを提示し「たすけ」を記載している。 ◇「日本語探索」「漢字道場」で言葉と漢字についての学習課題を提示している。 ◇<巻末>基礎編「学びを支える言葉の力」「文法解説」 ◇<巻末>資料編「読む」「読書案内」「古典」「話す・聞く/書く」「言葉」 上段 教材末ページ数 中段 「日本語探索」「漢字道場」ページ数 下段 巻末ページ数 [1年] 32 ページ 17 ページ 112 ページ [2年] 30 ページ 15 ページ 111 ページ [3年] 38 ページ 20 ページ 115 ページ

15 三省堂	17 教出	38 光村
有 ◇「領域別教材一覧 つけたい力を確かめよう」 ◇「確かなことばの力をつけるために」	有 ◇「言葉の地図 この教科書を使う皆さんへ」	有 ◇「学習の見通しをもとう」 ◇「この教科書で学習する皆さんへ」
◇<教材末>「読むこと」の教材において「学びの道しるべ」として提示している。 ◇<教材末>「読み方を学ぼう」として表現の特徴を提示している。 ◇<巻末>「文法のまとめ」「読書の広場」資料編「情報を活用する」「古典芸能に親しむ」「社会生活に生かす」「参考資料」「読み方を学ぼう一覧」 上段 教材末ページ数 下段 巻末ページ数 [1年] 30 ページ 126 ページ [2年] 34 ページ 124 ページ [3年] 28 ページ 128 ページ	◇<教材末>「みちしるべ」としてまとめ等を提示している。 ◇「学びのチャレンジ」として、活用型の問題を提示している。 ◇<巻末資料>「言葉と文法」「言葉の自習室」「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」 上段 教材末ページ数 中段 学びのチャレンジページ数 下段 巻末ページ数 [1年] 31 ページ 13 ページ 86 ページ [2年] 49 ページ 12 ページ 82 ページ [3年] 63 ページ 11 ページ 75 ページ	◇<教材末>「読むこと」の教材において「学習」として提示している。 ◇<巻末資料>「文法・漢字・振り返り」「学習を広げる」 上段 教材末ページ数 下段 巻末ページ数 [1年] 22 ページ 98 ページ [2年] 21 ページ 99 ページ [3年] 14 ページ 109 ページ

教科・種目名 国語 調査研究事項
別表5

調査項目	2 東書
<p>発展的な学習の内容や今日的な課題の項目と示し方</p>	<p>単元末の「振り返り」では学んだことをまとめ、これからの学習や生活での生かし方を考えるように促している。</p> <p>巻末の基礎編では本編の「学びの扉」を導入として、深く学べるように学びの手順が示され、「つながる・広がる」で学習や生活での生かし方を具体的に示している。</p> <p>資料編に学びを深めたり広げたりできる資料を提示している。</p> <p>3年の資料編に、「発展」と明記し、古典の文法の特徴などを掲載している。</p> <p>SDGsをはじめとした今日的な諸課題やその解決にあたるための力を育成する教材を配列している。</p>

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>各教材の「学びを広げる」で発展的な学習を示している。</p> <p>「学びの道しるべ」の最後に、これからの学習や読書につながるよう促している。</p> <p>巻末の資料編には「情報を活用する」「社会生活に生かす」という内容で学習内容がまとめられており、発展的な学習において活用を意識できるよう工夫されている。</p> <p>SDGsをはじめとした今日的な諸課題やその解決にあたるための力を育成する教材を配列している。</p>	<p>一部教材の「学びを生かそう」に、学んだことを、これからの生活にどのように活用していったらよいかを明記している。</p> <p>巻末「学びの自習室」に話すこと・書くことのテーマ例を掲載し、発展的な学習を促している。</p> <p>3年の巻末に、「発展」とマークで明記し、古典文法活用表を掲載している。</p> <p>全学年、各領域でSDGsを取り入れた題材を設定している。関係する教材は項目と合わせて目次に示している。また、SDGsに特化した教材を全学年に配置している。</p>	<p>「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の一部単元では「生かす」「つなぐ」として、これまで学んだことの生かし方と、今後の学校生活や日常生活、将来に向けてのつながりを明記し、発展的・系統的な学習が意識できるよう工夫している。</p> <p>巻末の「学習を広げる」ではテーマごとに教科書で学んだことがまとめられており、学習や日常生活に生かすように促している。</p> <p>「発想を広げる」では「話すこと」や「書くこと」の手がかりとなるテーマ例を示し、発展的な学習につながるよう工夫している。</p> <p>3年の巻末「学習を広げる」に「発展」と明記し、文語の活用を掲載している。</p> <p>SDGsをはじめとした今日的な諸課題やその解決にあたるための力を育成する教材を配列している。</p>

教科・種目名 国語 調査研究事項
別表6

調査項目	2 東書
他教科、総合的な学習の時間等との関連の示し方	他教科との関連をマークで示している。
指導要領 第3 指導計画と内容の取扱い 3の(2) 教材選定の8観点との関連	[1年] ◇オオカミを見る目 観点エ ◇風を受けて走れ 観点オ ◇ニュースの見方を考えよう 観点ウ ◇「常識」は変化する 観点カ
ア 国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。	[2年] ◇字のない葉書 観点オ ◇手紙の効用 観点イ ◇ハトはなぜ首を振って歩くのか 観点エ ◇鯉節-世界に誇る伝統食 観点キ
イ 伝え合う力、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするのに役立つこと。	[3年] ◇二つのアザミ 観点ア ◇絶滅の意味 観点エ ◇恩返し of 井戸を掘る 観点ク
ウ 公正かつ適切に判断する能力や創造的精神を養うのに役立つこと。	◇何のために「働く」のか 観点カ ◇風の唄 観点オ
エ 科学的、論理的に物事を捉え考察し、視野を広げるのに役立つこと。	
オ 人生について考えを深め、豊かな人間性を養い、たくましく生きる意志を育てるのに役立つこと。	
カ 人間、社会、自然などについての考えを深めるのに役立つこと。	
キ 我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、それらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。	
ク 広い視野から国際理解を深め、日本人としての自覚をもち、国際協調の精神を養うのに役立つこと。	

15 三省堂	17 教出	38 光村
無	SDGsとの関連をマークで示している。	無
[1年] ◇字のない葉書 観点オ ◇意味と意図-コミュニケーションを考える 観点イ ◇電車は走る 観点ウ ◇食感のオノマトペ 観点ア	[1年] ◇自分の脳を知っていますか 観点ウ ◇ベンチ 観点カ ◇持続可能な未来を創るために-人の暮らし方を考える 観点ク ◇森には魔法つかいがある 観点カ ◇子どもの権利 観点カ ◇言葉がつなぐ世界遺産 観点キ	[1年] ◇ちょっと立ち止まって 観点エ ◇比喩で広がる言葉の世界 観点ア ◇大人になれなかった弟たちに・・・ 観点オ ◇「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 観点エ
[2年] ◇じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか 観点ウ ◇壁に残された伝言 観点カ ◇一〇〇年後の水を守る 観点エ ◇自立とは「依存先をふやすこと」 観点カ ◇小さな手袋 観点オ	[2年] ◇日本の花火の楽しみ 観点キ ◇字のない葉書 観点オ ◇水の山 富士山 観点カ ◇夢を跳ぶ 観点オ ◇持続可能な未来を創るために-不平等のない社会を考える 観点ク ◇紙の建築 観点カ ◇学ぶ力 観点ウ ◇悠久の自然 観点カ ◇字のない葉書 観点オ	[2年] ◇アイスプラネット 観点カ ◇クマゼミ増加の原因を探る 観点エ ◇言葉の力 観点ア ◇盆土産 観点オ ◇字のない葉書 観点オ ◇モアイは語る 観点カ ◇生物が記録する科学 観点エ
[3年] ◇握手 観点オ ◇間の文化 観点キ ◇希望 観点カ ◇フロン規制の物語-＜杞憂＞と＜転ばぬ先の杖＞のはざままで 観点エ ◇「文殊の知恵」の時代 観点ウ	[3年] ◇なぜ物語が必要なのか 観点カ ◇薔薇のボタン 観点オ ◇async-同期しないこと 観点カ ◇問いかける力 観点イ ◇持続可能な未来を創るために-人間の生命・存在を考える 観点ク ◇言葉の力 観点ア	[3年] ◇握手 観点オ ◇作られた「物語」を超えて 観点カ ◇リオの伝説のスピーチ 観点カ ◇挨拶 観点ク ◇エルサルバドルの少女ヘスース 観点オ ◇紛争地の看護師 観点ク ◇温かいスープ 観点ク

教科・種目名 国語 調査研究事項
別表7

調査項目	2 東書
ユニバーサルデザイン化へ向けた取組例	<p>特別支援教育とカラーユニバーサルデザインのそれぞれの専門家の校閲を受けているという記載がある。</p> <p>上段に学習手順、下段に具体例を配置するなど区切りや順番を明確にしている。</p> <p>学習内容を示すアイコンを用いている。</p>
挿絵、写真、図表や資料の配置の特徴的な例	<p>ページ標記は下部</p> <p>長文は二段で構成</p> <p>学習をサポートする役割をもった独自のキャラクターや生徒のイラストがある。</p> <p>学習の目標や流れを説明する「学びの扉」には、漫画による導入がある。</p> <p>単元のはじめに、現代短歌に写真が添えられイメージを補助する役割を担っている。</p>

15 三省堂	17 教出	38 光村
<p>「カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。」という記載がある。</p> <p>「学びの道しるべ」では、学習の手順を上段に、参考となる情報を下段に配置して情報を整理している。</p> <p>学年によって基調となる色がある。</p>	<p>「特別支援教育専門家の校閲」という記載がある。</p> <p>文字に UD フォントを使用している。</p> <p>1年生の教科書では、他学年よりも文字が大きく、行間を広くとっている。</p> <p>学年によって基調となる色がある。</p>	<p>特別支援教育とカラーユニバーサルデザインの専門家の校閲を受けているという記載がある。</p> <p>文字に UD フォントを使用している。</p> <p>「話す・聞く」「書く」など学習内容を示すアイコンを用いている。</p>
<p>ページ標記は下部</p> <p>長文は二段で構成</p> <p>学習をサポートする役割をもった独自のキャラクターを設定している。</p> <p>生徒の主体的な学習の単元には生徒のイラストが多い。</p> <p>単元のはじめに、学習する季節のイラストが添えられている。</p>	<p>ページ標記は下部</p> <p>長文は二段で構成</p> <p>学習をサポートする役割をもった独自のキャラクターや生徒のイラストがある。</p> <p>写真資料が多く、近代作家の紹介ページでは、作家自身の写真を中心に情報が整理されている。</p> <p>単元のはじめに、和歌や俳句とともに写真が添えされ、イメージを補助する役割を担っている。</p>	<p>ページ標記は上部</p> <p>長文は二段で構成</p> <p>学習をサポートする役割をもつ生徒のイラストがある。</p> <p>大きな写真資料や、情報量の多い学習の観点を扱うページは折り込みとし、学習の流れを扱うページも見開きで情報を完結させている。</p> <p>春、夏、秋、冬のページにその季節の詩、短歌、俳句とともに、イラストが添えされ、イメージを補助する役割を担っている。</p>